

第28回 市民と市長の 『青空』タウンミーティング 報告書



○期 日 平成21年11月3日

○会 場 吉祥寺F&Fビルウッドテラス

武蔵野市

まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

平成18年からの2年間で、すべてのコミュニティ協議会との共催により、「地域別タウンミーティング」を計16回開催しました。その後、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「市民協働で育むまちづくり」をテーマとしたタウンミーティングを計6回、地域別の2巡目のタウンミーティングを計4回、屋外での青空タウンミーティングを1回開催いたしました。

今回は、吉祥寺F&Fビル・ウッドテラスにおいて、屋外での「第28回市民と市長の青空タウンミーティング」を開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成21年11月3日(火・祝)
午後1時30分～3時
2. 場 所 吉祥寺F&Fビル 1階 ウッドテラス
3. 主 催 武蔵野市
4. 協 力 むさしの-FM
5. 参加者数 150人(立見者も含みます)
6. 主催側出席者 市長 邑上 守正
企画政策室長 南條 和行
7. 司 会 むさしの-FM 宮原靖子
8. 内 容 市政や地域の課題に関する意見交換

目 次

1. 発言の要旨	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 当日の意見交換(要旨)	2
1. 外環道路計画について	2
2. 食について	3
3. 郷土資料館の建設について	4
4. 吉祥寺東町の交通問題・法政跡地について	5
5. 成蹊学園のケヤキ並木・放置自転車について	7
6. 民有地の活用について	8
7. 吉祥寺駅南口の整備について	9
8. 公園での犬の散歩について	10
9. 空き家の管理について	10
10. 放置自転車について	10
11. 泉幼稚園の跡地利用・コミュニティセンターについて	11
12. F&Fビルのテナントについて	12
13. 境南中央公園・路上喫煙・外環道路について	13
14. コミュニティセンターの利用について	14
15. 地域自由大学修了後について	15
16. 吉祥寺のまちづくりについて	16
(3) 閉会のあいさつ	18
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針	19
・子育て支援	19
・食育	19
・生涯学習	19
・ごみ	20
・緑化・公園	20
・生活環境	21
・コミュニティセンター	21
・都市計画	22
・吉祥寺のまちづくり	23
・交通	25

・ 自転車対策.....	25
・ 未利用地の活用.....	26
・ 広報.....	26

3. アンケートでいただいた感想.....	27
-----------------------	----

— 付属資料 —

第28回「市民と市長の青空タウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆様、こんにちは。今日は、青空タウンミーティングにおいでいただき、ありがとうございます。10月の市長選挙で信任をいただき、再度市長に就任いたしました。今回は、再任後、初のタウンミーティングとなります。

タウンミーティングは、今回で28回目になります。これまで、地域のコミュニティ協議会との共催による開催と、商店街や防災などのテーマを設定した開催を中心に行ってきましたが、以前より、誰でも気軽に参加できるような、地域やテーマを限定しないタウンミーティングも開催したいと考えていました。今回は、4月に続き2回目の青空タウンミーティングです。吉祥寺にいられた方、お買い物にいらした方やご通行中の皆様も、どなたでもお気軽にご参加いただけるような会にしていきたいと思っております。

これまでの4年間、市民が主役の市政をめざして、多くの市民の皆様により市政への参加と協働事業への協力をいただき、参加型市政運営の第一歩を踏み出せたものと思っています。第2期目の4年間では、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる」をテーマとして、皆様の参加と協力をいただきながら、市民が主役のまちづくりをさらに進めてまいります。

前回も多くの方にご参加いただき、様々なご意見をいただきました。短い時間ですが、皆様がお住まいの地域のことや日頃感じていることについて、ご意見をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。



(2) 当日の意見交換(要旨)

1. 外環道路計画について

【ご意見】

吉祥寺東町に住んでいる。武蔵野市の東部で問題になっている、外郭環状道路計画について、もともとの計画は、地上に練馬区の大泉から世田谷まで高架でつくるという話であった。これは 40 年も前に計画された線だが、凍結されていて、つい 4～5 年前にこの計画が変わって、本線は地下に入ることになった。しかし、地上部には、外環の 2 という道路をつくる計画が残っている。本線については、昨年 1 年間かけて、国交省と地元の人間が交渉して、問題点を洗い出した。



この外環道路は沿線 6 市区にわたって走っているが、今の計画の武蔵野市に該当する区間は、外環道路本線は表面には出てこないが、地下水とか排ガスの煙突がちょうど大泉のあたりにできるので、武蔵野市はその排気ガスが降りてくるなどの被害を受ける。

そういう状況で、外環の 2 という地上部の問題のほうが我々にとっては大きいし、この外環の 2 という地上部の道路については、都市計画道路として必要な道路かどうか、まだわからない。地元の人間は、こういう道路は住宅地の中にローラーをかけるみたいなものだから、要らないと言っている。

従来、武蔵野市は、外環の 2 の話がある程度はつきりしなければ、本線についても必ずしもうんと言わないという話をして、地元も市も一緒にそういう対応をしてきた。

ところがつい先般、国土交通省で新しい予算をつくるときに、建設関係の予算が大幅に削られた。本線の着工もままならないような予算の状況になったことに対応して、6 市区の首長たちが、国に要望書を出した。この要望書は、幾つかの問題があるが、今年度に必要な予算をつけること、22 年度以降も事業費の安定確保に取り組み、早期完成に向けて着実に事業を進めることなどを要望としてお出しになった。

これについて、地上部の外環の 2 もまだ話し合いの緒についたところで、急にそういうことをおっしゃられても、市民もどうなっているんだろうと大変気にしているのだが、市長も印を押しているなので、お話を伺わせてほしい。

【市長】

外環道路については、市の東部に計画線が入っています。幅広の道路ですが、本線は国道です。本線は地下に計画変更がされています。全部が地下になったのかと思ったらそうではなくて、地上部は東京都の計画になりますが、そのまま残っています。

この外環は、基本的には、本線について、機能は認めようというスタンスですが、その事業化に当たっては、きちんとした安全、環境への配慮を検討してほしいというスタンスです

し、武蔵野市として、そして武蔵野市長としても、より一層慎重な検討をしてほしいというスタンスに変わりありません。

地上部の外環の2については、必要性に疑問を持っていますし、必要性があるとすれば、丁寧にデータを示して説明してほしい、さらに必要性の有無から議論してほしいと東京都にお話をし、8月から、地域の皆様方に参加いただきながら議論をスタートしていますので、外環その2については、その議論を待ちたいと思います。

今回、関係区市で要望を出した趣旨は、今まで国、都、各自治体で話し合いの場をスタートしたのですが、事業について、一方的に予算がないから見送るという話が、報道を通じてなされたということにあります。

本来、こういう予定なのでご理解いただきたいということを、地元の自治体には一番にお話をいただかなければいけないし、地元の皆様方にもそういう話を先行してお伝えすべきはずだったのに、それを抜きにして、いきなり報道機関を通じて発表されたことに懸念を抱き、今まできちんと合意のもとに、「対応の方針」という基本的な考え方を履行してもらうという約束をしていたので、それを踏まえてきちんとした対応をしてほしいという趣旨です。



ただ、関係区市の全体の要望で、他区市では早期完成の要望が強いこともご理解ください。皆様方にもご心配いただきましたが、私からの要望の趣旨は早期の完成を目指せというものではなくて、その前段です。早期の完成というのは3番目の項目でして、1番目、2番目にはきちんとした対応、特に2番目では地元の意見を聞いてほしいと述べていますので、その全体に沿った流れをご理解いただければと思います。私自身も外環については、より慎重にということをこれからも国や東京都に申し伝えていきたいと思っています。

【ご意見】

概ね了解した。今後ともそういう方向で承る。ただ、例えば関係市区の練馬や三鷹は、まだ議論が混乱していて、武蔵野は、本線については地下1本だけだが、三鷹とか練馬は、地上部が地上から表へ上がってくるための大きなインターをつくらなければならない。世田谷にもあるということで、呉越同舟とまで言わなくても、6市区の統一がとれずに、それに多少引っ張られてああいうご意見が出てきたのかと思う。私どもも、そういうふうに現場、各市区の状況が違うということは認識しているので、その辺のところをしっかりと押さえて、武蔵野の立場は貫いていただきたい。今後ともよろしくお願ひしたい。

2. 食について

【ご意見】

吉祥寺南町に住んでいる。武蔵野市は、例えば栄養士が中心になって、いろんな栄養講座を開催して、カロリー計算やバランスのよい栄養の摂取しかたなど、非常に丁寧な講義がなされている。それを聞きに行くと、ああそうかと帰ってくるが、大体1週間ぐらいで忘れて



【市長】

武蔵野市民は、食に対する関心が非常に高いです。この吉祥寺も、食に関しては有名ですし、テレビ番組でいろんなお店も紹介いただいて、多くの方に来訪いただいています。

もう一つは、武蔵野市は、規模は小さいですが、農家も頑張っている。面積にすると3%程度の面積で、約33haしかないんですが、80数件の農家の皆様に、多品種の農産物を提供いただいています。

ちなみに、今度の日曜日に、市役所南側の公園で青空市を開催しますが、武蔵野市の農家の皆様方が農産物を品評会に出品されます。ぜひそれを見ていただきたいのですが、なかなか日頃見られないような野菜がいっぱいあります。そういう野菜も子どもたちにぜひ食べてもらいたいという取り組みをずっと行ってまして、小学校の給食にも、農産物の2~3割を市内産のものを提供いただいています。昨年から中学校給食もスタートしましたが、中学校給食でも同じように、地元産の農産物をなるべく使うということでご理解、ご協力いただいています。

小・中学校に限らず、そこでの取り組みをもう少し地域に広げていこうということで、議会でも提案いただいています。食育計画を全市的に考えられないかを検討しているところです。小学校と中学校の給食の大きな違いは、小学校の給食はやや薄味なんです。中学生になるとやや大人に近いので、我々の食の参考になってくるかと思います。そういう情報を地域の方に提供すれば、テンミリオンハウスでもそれぞれ独自に、素晴らしい昼食を提供いただいています。そういうメニューの参考にもなるかと思います。

いずれにしても、それぞれの取り組みは非常に頑張っていますので、そういう食のつながりで、武蔵野市全体がつながっていけば、大変いいまちになってきますので、ご意見を参考にさせていただきたいと思います。

3. 郷土資料館の建設について

【ご意見】

関前に住んでいる。郷土資料館を早く設立してほしい。先日、目黒に行ったら、郷土資料館が中学校跡地にできていて、縄文・弥生からうまく配列して、小学校教育、中学生、区民の方たちの憩いの場でもあり、教育の場でもあり、孫からおじいちゃんまで一緒に来る場に

しまう。

一方、テンミリオンハウスがあって、そこで料理が作られて出されているが、そこには栄養士はおられない。

また、農園があって、野菜や花を栽培するなど、非常に活発に活動されているが、例えば農園において無農薬野菜をつくって、栄養士がその無農薬野菜をもとにしてテンミリオンハウスで食事を出すとか、そういう横のつながりが全然ないように思う。その辺を疑問に思う。

なっているということだった。少し前に墨田区の博物館に行ったら、戦争体験記が全部ファイルされていて、あちこちに資料が飛ぶことのないように蓄積されていた。

武蔵野市を見ると、縄文土器とか大変な財産が保存されているというが、どこへ行くかわからないという状態とか、戦争体験も随分あるが、バラバラになってしまいそうな感じで、どうかこの資料を大切に保存するだけでなく、活用するためにも、センターの役割を果たす拠点をつくるようお願いしたい。前から準備室があって、武蔵野市百年史もつくって、もうそろそろやるんだと言ってから、準備室がそのままになっているので、ぜひ本物になってほしい。

【市長】

市の長期計画の中でも、郷土資料館の取り組みを研究していくと掲げています。今は郷土資料館の前段となる、文献の資料を整理していて、百年史以降20数年の残りの分を整理して、来年には発刊できるかと思います。同時に、市内に伝わるいろんな農機具をはじめとする民具なども収集して、旧桜堤小学校の中などに保存していますが、なかなかそれを皆様方に見せる場所ができていません。財政上、今後、大きな施設をつくるのは難しいので、今ある施設の中で展示できないか工夫をしていきたいという思いはあります。



もう一つご意見の中で、平和資料というお話もありましたが、私もぜひ平和資料を整理したうえで展示して、子供たちにも見てもらいたいと思っています。緑町の都営住宅の中に、中島飛行機時代の変電室の建物が唯一残っていますが、それは東京都の用地、建物なので、何とか東京都にその保存をお願いできないかと思っています。中島飛行機の施設だったことから、その中を改造して、中島飛行機時代、あるいは戦時中の歴史などを、その中で展示できないかと思っていますので、あわせて歴史を伝えるような施設づくりについて、今後よく検討していきたいと思っています。

4. 吉祥寺東町の交通問題・法政跡地について

【ご意見】

吉祥寺東町に住んでいる。私は東十一小路という市道沿いに住んでいる。東十一小路は南から北への一方通行であり、現在、練馬区との境の部分が工事中で通過車両が少ないが、その東のほうの宮本小路は相変わらず通過車両が多く、通学路でもありながら、地元住民としてはこれでいいのかという思いがある。前市長のときに、「人にやさしい道づくり」という施策がなされたが、その効果は、はかばかしくないこともあって、建設委員会にも陳情し、採択も受けている。

この11月末に工事が終われば、また元どおりになってしまい、通過車両は相変わらず南から北へ、また、北から南へが大量に通過する状況は変わらないとも思うので、抜本的なこと

を市としてどう取り組んでいくのか検討いただいて、地元を考えを示してほしい。

また、法政一中・高の跡地は、美大通りの西側は市が土地開発公社にお求めいただいて、その後跡地をどう利用していくかについては、ぜひ住民の意見、パブリックコメントを取り入れていただいて、その活用をお願いしたい。

【市長】

東町 2 丁目の区域は、周辺の練馬区や杉並区からの通過車両が大変多い住宅地になっています。本来、住宅地の中ですから、通過車両を排除したいのですが、車を回す幹線道路が周辺でうまく整備をされ切っていないということもあります。周辺の幹線道路は、東京都の道路になりますから、東京都にはその旨をお伝えし、一緒になって課題を整理して、どのような形が根本的な課題解決になるか議論しているところです。

1 つは女子大通り等の道路の拡幅計画で、これが幅員 16m の計画ですが、現状では 9 m といった中で、交通量もなかなかさばけていないということもあります。それから吉祥寺通りについても、武蔵野市域の中はわりと幅員が豊かなのですが、練馬区に入ると幅員が狭いということで、ボトルネックとして、交通混雑の原因になっています。

交通問題は、武蔵野市だけではなかなか解決できない面がありますので、周辺の区、それから周辺の練馬警察、荻窪警察、武蔵野警察など、交通規制を担当する警察も幾つかに分かれていますので、そういう警察関係とも連携を図りながら、その解決を議論していきたいし、東京都に対しても、全体の交通計画をきちんと考えてほしいということのを再三申し上げていますので、ともに情報交換しながら、これからもさらに議論していきたいと思えます。

法政一中・一高跡地の記念館の跡地については、市で購入することができました。基本的には、この地域はオープンスペースが足りない、防災機能が大変弱い地域だと思えますので、ここを防災機能を持った広場として、整備したいと思えます。マンションができつつありますが、現場小屋として使っているようです。その完成後には、そういう計画づくりについて、地域の皆様の参加型で進めていきたいと思えますので、その際にはご参加いただければと思えます。

【ご意見】

最初のほうにお尋ねした件については、その旨のご回答は昨年、吉祥寺東コミセンでのタウンミーティングでも同様の趣旨のご発言をいただいている。その後、進捗状況が手にとる



ように見えていないので、何年後にどういう目的でここはどうなるというタイムスケジュールを、関係市、区、都、公安委員会か、警視庁か、いつまでにこのことをこう解決したいんだという武蔵野市の強い意思が、あまりに見えない。

市長がおっしゃるように、吉祥寺寄りの立野町までは行っているが、その先については確かに練馬区のことなのでということになってしまうのかもしれないが、そこをそのままいつまでたっても、交通体系の面においても変わらない。宮本

小路に入ってくる車は、青梅街道から右折のレーンがあって、そこから宮本小路まで一方通行で入ってくる車があるが、以前にはなかったことで、それに影響されるところは練馬区であり、杉並区であり、武蔵野市になってくる。それがいつどこでどういうふうに分かれたのか、武蔵野市はどう関与されていたのか示していただいていない。

幹線道路の整備もさることだが、幹線道路はなかなか整備が追いつかないのが現状なので、ほかに何かあるかということ、現状では規制をしていくということでは解決方法はないかと思う。規制ということでは、どう取り組んでいくのかということ、もう少し具体的なこととしてタイムスケジュールで区切っていただいて、こういう方法はどうかということ、市としての考え方を地元住民にも示してほしい。建設委員会で採択されているということが、何ら地元住民に返ってきていないというのが現状だ。

【市長】

課題としては大変認識していますが、この4年間にわたって、関係区市では様々な情報交換をして、練馬警察、杉並警察にも武蔵野市としての課題をお伝えし、解決に向けてさまざまな議論を進めてきたところです。広域交通体系になりますと、外環の2も絡んできますので、慎重に対応していかなければなりません。外環の2が整備されれば、通過交通はなくなるという理論は、そのまま受け入れたくないというのがありますので、その辺は密に東京都ともやりとりをしながら議論を進めていきたいと思えます。

5. 成蹊学園のケヤキ並木・放置自転車について

【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。ケヤキ並木について、前市長のときはいつもきれいに保たれていた。土地は成蹊大学のものだが、木は多分武蔵野市が管理しているかと思う。それが最近、並木道の沿道にお住まいの人がいっぱい木を植えて、その木が大変大きくなって、並木道の景観がすっかり変わった。夜遅くなると、成蹊大学からずっと街灯がついているが、それが暗くて、若い人なんか通るとき、私も夜仕事をしているが、9時半、10時になるが、非常に怖い。



事故が起きてからでは遅いので、勝手に植えられた木は私とその住民に交渉したら、あれは勝手に生えてきたんだ、切ってしまう方がいいと言われる。それはあなたが植えたもので、私は注意したと申しあげたら、いやいやなんて言っているの、もう相手にはしないで、あの並木道は武蔵野市がきちっと保存してほしい。

それから、この間、ムーバスが来るのを待っていたら、知らない方が、吉祥寺のまちは自転車の放置が非常に増えて、大変汚くなったと言っていた。以前はご年配の方が整理していたので、駅前には1台も自転車がとまっていなかった。それが今は、とめるのもきちっとめればいけど、若い方はそのままぱっぱととめるので、非常にまちが汚くなった。市長にこんなことを直接話すのは大変失礼と思うが、どうぞよろしく。市役所に言ったが、だれも

相手にしてくれなかった。市役所の職員の対応の悪さには驚いたが、私も働いて、高い税金を納めているので、よろしくお願ひしたい。

【市長】

ケヤキ並木については、担当にも確認をしますが、基本的には、成蹊学園の私有地のものです。木自体も成蹊学園がいろいろ手入れをされているという前提です。ただ、そこも私道ですから、成蹊学園に提供いただいて通らせていただいている現状があります。しかし、様々な課題をお伺いしましたので、成蹊学園にもお伝えして、適正な管理ができるようお願いしていきたいと思ひます。



放置自転車については、なかなか解決できていません。しかし、放置自転車の台数は、以前に比べてかなり減っています。午前中は激減していますが、午後は買い物の皆様方の放置自転車が結構増えていまして、以前と変わらぬ景観になっています。私もぜひこの放置自転車を解消したいと思いますので、駐輪場の確保が第一だと思いますが、ヨドバシカメラの北側のパーキングプラザという大きなビルを借りることができましたので、その中に 1,200 台分の駐輪場をこれから 3 月までに整備します。

そうなりますと、今、ヨドバシカメラの前の歩道上にとめてある駐輪を一掃することができるので、あそこの道に限っては路上駐輪がなくなることとなります。これからもほかの駐輪場の確保に向けて、これは武蔵野市だけではなかなか難しい面がありますので、JRにも強く要望していきます。

お買い物客の皆様方の駐輪場でもありますので、地元の商店街とも協力して、駐輪場を確保して路上駐輪をなくす、それから放置自転車をなくすという取り組みも進めていきます。

6. 民有地の活用について

【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。成蹊学園の西側にある日本興業銀行の社員寮の跡地があるが、広大な空き地が何年もそのままになっている。この跡地の利用計画について、何か具体的なプランはあるのか。差し支えない範囲で教えてほしい。

【市長】

全く情報はわかりません。民有地ですので、多分その銀行さんがこれからの資産活用を考えていらっしゃると思ひますが、市のほうに計画は伝わっていません。何かありましたら、もちろん公表できる範囲でお伝えしたいと思ひますが、今の時点では特に情報をつかんでいません。

【ご意見】

多分実現するのは大変難しいかと思ひますが、その跡地を何とか利用して、住宅なり福祉施設

なりを建設してほしい。普通の団地のような住宅で、低廉な市営住宅みたいなものを。

【市長】

市内には市営住宅、都営住宅がありますが、今後の公共住宅についてどうするかは、これから住宅マスタープランという、住宅施策を考える計画をつくっていきますので、そのときにさまざまな議論をしていきたいと思います。いろいろ課題をお聞きする中では、例えば、若者がなかなか住めなくなってくる、若い世代が住みにくいまちになっているということもありますので、ファミリーがもう少し住みやすいまちにするにはどうしたらいいかも含めて、住宅計画の中で議論していきたいと思います。

7. 吉祥寺駅南口の整備について

【ご意見】

御殿山に住んでいる。吉祥寺南口の駅前広場について、何年か前に、計画はあっても実現が進まないという話を聞いたことがあるが、現状は吉祥寺駅南口は、恥ずかしいような危険な状況である。現状と見通しもわかれば教えてほしい。

【市長】

皆様方も見て、大変混乱していて、街並みが混雑しているということをご理解いただいていると思います。吉祥寺駅の南口については、三角地ですが、駅前広場計画として約 2,000㎡の計画があります。武蔵野市も計画決定をして、用地買収を進めているところです。現在のところ、手元のデータですと駅前広場の計画面積は 1,900㎡ですが、買収できたのがそのうち 25%ということです。

基本的には全面買収をして、青空の駅前広場を設けていこうということですので、ぜひ地権者にご理解をいただいて、用地買収にご協力いただきたいと思います。それは今、鋭意努力しているところです。

ただ、地権者の皆様方が思っているのは、もう少しそこで商売ができないかということ等がありまして、例えば駅前広場だけじゃなくて、もう少し周辺を交えた形で再開発ができないかなというような議論もあるようです。それは地権者の皆様を中心となって、研究を進めていられるということですので、そういう研究の経過もお聞きしながら、武蔵野市の考え方もまたご理解いただきながら、駅前広場の整備をぜひ進めていきたいと思います。

あわせて、南口を降りてすぐの道「パークロード」は、バスが走り、歩行者が行き交い、なかなか混雑しています。駅前広場を整備すれば、あそこにバスをある程度とめることができるということで、パークロードを散歩道に、プロムナードができるかと思っていますので、そういう計画も進めていきたいと思います。

パークロードは、これから舗装の整備をすることになっていまして、環境という面からは、



なかなか木が植えられず、夏場は大変暑い空間になってきますので、一つの取り組みで遮熱性舗装を施工することになっています。そうなりますと、夏場は路面の温度が 10 度ぐらいは下がります。例えば、乳母車の親子だとか、あるいは犬の散歩だとか、ある一定程度の効果はあるかと思いますので、ご注目いただきたいと思います。

8. 公園での犬の散歩について

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。私たちは犬を飼っているが、犬の散歩で公園に行って、その公園の前の家の方が、新聞で犬をたたいたりする。

【司 会】

それで困っているのかな。困っているのね。ということのようです。

【市 長】

ワンちゃんを新聞紙でたたく人がいるんですか。それは困りましたね。市にそういうことを担当をする人がいますので、伝えておきますので、今度また直接お話を聞かせてください。

【司 会】



いいですか。じゃ、武蔵野市役所にそういう担当がありますので、お電話で市役所のほうにお願いしてみてください。大丈夫ですか。お母さんに相談してみてくださいね。どうもありがとうございました。

9. 空き家の管理について

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。吉祥寺図書館の裏側、消防団の東側に空き家がある。市の看板がかかっているが、夜間、危ないので何とかしてもらいたい。市の所有地ではないが、古い家なので、一度見てほしい。

【市 長】

わかりました。一度見ますし、暗がりになっていて、防犯上課題があるようであれば、持ち主に適正な管理をするよう伝えます。

10. 放置自転車について

【ご意見】

吉祥寺北町に住んでいる。放置自転車については、考え方が違うが、私たち、あるいは、皆さんの親でヤミ米を食べなかった人はいないと思う。ヤミ米を食べなかったら検事正みたいに死んでいるはずだから。ヤミ米は必要悪としてみんな食べていた。放置自転車も必要悪だ。あれをなくすということを考えて撤去ということじゃなくて、今民主党が主張しているように、25%CO₂を節減しようと思ったら、逆に奨励するような形にしなければいけないと思う。

それにはどうしたらいいかというと、必要悪として、あそこの街路樹は全部切る。それで、

東京都の道路もあるだろうが、そこを全部駐輪場として使いやすくする。整理員も配置する。どうやって追いかけて、なくなりっこない。広大な駐輪場を駅前につくればいいが、それはまた膨大な予算がかかることだし、税金がまた増える。もう何とかあれを使えるように整備して、必要悪だから街路樹を切るか、どこかへ移植するかして。それで全部駐輪場ができ上がったら、また街路樹を戻す。

こっちは美観の問題だから、生活と美観とどっちが大事だという考え方をしてもらいたい。私は放置自転車の撤去したところの返還業務をやっていたが、実際にはかわいそうな話だ。お使いに行っちゃちょっととめたら撤去されて、3,000円取られる。そういうことを考えて、いいほうへ善導してほしい。

【市長】

放置自転車はないほうがいいに決まっていますね。歩道は、本来、歩行者が歩く空間ですし、放置自転車があるところだと、いざ何かあったときに歩行者が逃げられない、安全が確保できないという可能性があります。これは駐輪場を確保して、ベストを尽くすのが第一義だと思います。

私も自転車を大いに使っていただきたいという立場です。自転車は使わないで来てくださいじゃなくて、使ってほしいんです。環境に優しい乗り物であることは間違いありません。しかし、自転車も車の一つなので、ルールを守っていただかないと、混雑するばかりで、とめる場所だってルールをつくって、それを守っていかなければいけないと思います。

美観、景観というのも、吉祥寺にとっては一つの大切な売り物です。混雑した中、皆様方はお買い物に來たいと思うかということ、それもまた疑問なので、なるべく吉祥寺でも魅力ある街並みをつくっていきたく、そのためには自転車も駐輪場を整備して放置自転車をなくしていく努力を続けていきます。



11. 泉幼稚園の跡地利用・コミュニティセンターについて

【ご意見】

中町に住んでいる。私は今コミセンと福祉の会に所属していて、コミセンに関しては、中高年の団体の方にご利用いただいている。しかし、子育て世代とか中高生、小学生の居場所が、市内は児童館が1館しかない。泉幼稚園跡地を子育ての施設として市で買っていて、今もう活動しているが、なかなか実現しないということと、東西南北ぐらいいせめて児童館がほしい。児童館とはゼロ歳から18歳まで使えるので、そういう意味では、ぜひ泉幼稚園跡地に児童館的なものをつくっていただきたい。

それとコミセンも、ボランティアで全部運営しているが、やはりボランティアだけだと限界があって、ほかの地域、三鷹あたりは1館1億円かかってコミセンが1軒あるが、職員なり、専門職が入っているからそのくらいかかると思う。

確かに市民、ボランティアが運営することは、市民の地域の仲間づくりにもとてもよいと思うが、今後すべてボランティアでやっていくと、市からもコミセンをこういうふうを活用してほしいとか、仲間づくりをしてほしい、地域の拠点となってほしいと言われているが、ただ仲間だけで運営していくことに関しては、なかなか市や市民の要望を実現するのは難しい。窓口に関しては、有償ボランティアでやっているが、運営に関しても少し有償化してほしい。

それともう一つ、場所も無料でお貸ししているが、うちの中央コミセンはすごく古くて、年中修繕依頼を出している状況だ。そういう面で、市でもとてもお金がかかると思う。1部屋4時間200円ぐらい、市民の方にも負担していただければ、修繕費、運営費ももう少し増えるのではないかと思います。

【市長】



泉幼稚園の跡地については、なかなか具体的な施設の内容がまだまだ合意できない、まとまらないという経過もあります。ただ、あの用地を購入してそのままというのは大変もったいなく、しかも果樹がいっぱいありますので、一時期それを開放しながら、利用の用途を考えられないかと思えます。中へ入りますと、コンクリートのガラがいっぱいあって、なかなかそのままでは使いづらいので、一旦、ガラを整理して、安全な形にした状況で開放して、使い

ながら何か具体的な話が議論できないかと考えています。

コミセンのあり方、これは大きな課題として、コミセンもコミュニティ構想は30数年前にできて、それがもとで各地域にコミュニティ協議会ができて、コミセンの運営をお願いしています。コミセンの運営については、地域のコミュニティづくりの拠点として、地域が主になっていただいています。自主3原則のもとで、市はお金を出すけど口は出さないということで、この30年来たわけですので、基本的にはそういうスタイルが一つはいいであろうと思いつつ、コミセンに対する期待は、大変大きなものになってきています。

安全、まちづくり、福祉など、さまざまコミセンを拠点として展開していただきたいという期待も、市だけではなくて、地域の方もそう思われているということもあるので、これからのコミセンのあり方を、もう一度議論していいかと思えます。

今までのコミセンは30数年前のコミュニティ構想を原点に行っていましたが、さらにこれからの先を考えて、コミュニティセンターのあり方、あるいはコミュニティ形成のあり方を再議論していきたいと思っています。

12. F & F ビルのテナントについて

【ご意見】

吉祥寺東町に住んでいる。このF & Fビルから伊勢丹が撤退するという話を市民は承知し

ている。その後どうなるかということは、所管は開発公社になると思うが、開発公社としてどうとらえているのかということと、武蔵野市としてどうとらえているのかということ、2点ある。今の段階でおっしゃっていただけることがあったら教えてほしいということと、開発公社と市との間でその辺の展望について、同じ考えで進んでいると思うが、ここが今後どうなるかということについて伺いたい。

【市長】

このF&Fビル、伊勢丹が入ったビルは、市の開発公社と多くの地権者との共有の持ち物です。圧倒的に市の開発公社の持ち分が多いわけですが、このたび、長年ずっと入店をされていた伊勢丹が、来年の3月14日をもって閉店するという事になっています。大切な場所ですし、吉祥寺の一つのイメージをリードする店でしたので、この伊勢丹の跡をどうするかについては、市も大きな責任を持って、開発公社とともにいろいろ議論をしてきたし、伊勢丹に負けないようなテナントを誘致しようということで、この間努力をしてきました。

おかげさまで、多くの事業者から手を挙げていただきまして、いろいろやりとりをして、結果、ほぼもうすぐ1社と合意ができる見込みになっています。ただ、事業の話が絡みますので、なかなか向こうの事業者の最終決定がまだされていないということもあって、私どもから公式に発表はできない段階になっています。ただ、間もなくそういう正式発表がされれば、私から直接記者会見の場で発表していきたいと思えます。

ただ、今の段階は、事業者が決まる段階ですので、どんな店がどこに入るかというのは、これからの話です。事業者が決まった以降、その事業者と具体的なテナントについては調整していきますが、確定した段階で、また皆様方にも報告をしていきたいと思えます。

13. 境南中央公園・路上喫煙・外環道路について

【ご意見】

境南町に住んでいる。現在、境南町に、武蔵野市でも一、二の広さと言われている公園が計画されている。ところが住宅地の真ん中で、周囲は住宅で囲まれている。その中につくる公園ということで、どういうお考えでここを公園にしようとしているのかお伺いしたい。

また、武蔵境駅の南口にマナーポイントがあり、ここで若い人がたばこを吸っている。この喫煙の害については、もうよく知られているところだが、また税金が上がるということも言われている。杉並区では、この喫煙対策が進んでいるように聞いている。武蔵野市では、そういうことは計画されているか。

外環の問題について、環八の渋滞の状況が、この外環の貫通によって緩和される、空気もよくなるだろうと伺っている。そういう意味では早くしてあげたらよいと思う。



【市長】

境南町四丁目に富士見通り商店街がありまして、その 1 本北側に入り込んだ地域に昔の郵政住宅の跡地を購入することができて、約 3,000 m²の公園を予定しています。境南町は、公園が極めて少ない地域です。特に、この境南町四丁目は住宅が密集していることから、何とかオープンスペースを設けて防災機能を持った公園を整備したいということから、その購入に踏み切りました。第 1 の目的としては、不足する公園を確保する、地域の防災性を強化するというので、周辺は住宅地なので、大きな音を出せるような公園ではないですが、機能的には緑、防災の機能を持った公園をぜひつくりたいということと呼びかけをして、ワークショップを進めているところです。一定程度の制約はありますが、そういう機能を求めているところですので、ぜひこれをご理解いただいたうえで、公園の提案をしていただきたいと思います。



路上喫煙は、3 駅について、禁煙地域を設定して、そこでは喫煙をご遠慮いただこうということで、緑のジャンパーを着た、ベテランの方と女性の方でペアになって、巡回いただいて、指導、啓発をしています。

おかげさまでかなりこれは定着して、今見てもたばこ吸っている人はいないでしょう。逆に申せば、マナーポイントで多くの方が喫煙しているということで、そこからもうもうと煙があって、その課題も結構いただいています。

しかし、武蔵野市は、そういうやり方で罰則もありません。注意するだけでも、その取り組みは

定着しているかと思います。杉並区のほうでは、たしか罰金を徴収することとされましたが、当面、武蔵野市ではそこまで厳しくせずとも、今のようなやり方でお願いして、協力いただければよいかと思います。

外環道路計画の件は、私も外環の本線はある程度機能を認めているというのは、そういう趣旨もあります。首都圏全体を見渡すと、基本的には外環の道路と、放射状の道路、これで都市の交通体系が成り立つんです。ところが、外環は、一部区間、今計画している区間を除いて開通しているものだから、逆にバランスが悪くて、練馬などで様々な課題を引き起こしているということもあり、中途半端な状態になっているということもあって、練馬区や世田谷区は、かなり外環の開通を望まれています。だからといって、さっきのお話に戻りますが、早くつくればよいということじゃなくて、やはり丁寧に、環境問題、安全問題を徹底して追求していただきたいという考えであります。

14. コミュニティセンターの利用について

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。コミュニティセンターを利用させていただいているが、場所が

よいところはいつも予約がいっぱいで使えない。自分の近くのところでお願いしているが、月2回しか使えない。空いていても、みんなが使う会場だからということで、申し込みは2回しか受けていただけないが、月によっては空いている日もある。コミュニティ祭りなどがあるときなど、どうしても月3回稽古したい場合がある。会場が2回と決まっているからと断られると、よその会場を探さねばならない。

【市長】

コミセンによって、それぞれ申し込みの仕方、利用回数が違います。今日も、コミセン関係者がいらっしやっていますが、なるべく利用者の便にかなうような形で工夫をいただければと思います。このことは、多分日頃から課題として、認識されているかと思いますので、大変悩んでいる場面もあろうかと思いますが、工夫をこれからもいただけたらと思います。

【司会】

今日コミセンの運営委員の方がいらっしやっているので、月2回以上使えるというお話をちょっとさせていただきます。それではお願いします。

【中央コミセン運営委員】

予約に関しては、うちのコミセンも月2回と決まっています。これはいろんな団体の方にご利用いただくためですが、当日お電話いただいてあいていれば、月何回でもお貸ししています。その場合、1人でも2人でも使っていただいていますので、うちの中央コミセンは結構そういう方のご利用が多くて、楽器の練習とか、歌の練習とか、そういう方が大分入っていただいています。当日朝お電話いただき、空いていれば、月何回でもご利用できます。

15. 地域自由大学修了後について

【ご意見】

関前に住んでいる。私たちも自由大学などで随分お世話になって、生涯学習はさすが武蔵野市と仲間からも褒められているが、他のところはその後、地域に貢献しようということで、ガイドボランティアや、郷土資料館で郷土史の勉強をしながら、市民にそのよさを伝えている。そういう関係で、社会貢献に戻ってくる仕組みを考えていただきたい。また、そういう拠点、郷土資料館をもっと早くつくって、ソフト資産が武蔵野市に残るように、箱物だけではなくて、前からあるソフト資産を何とか活用してほしい。先ほど市長から、みんなが集まるとか活用するという、工夫の面でというのがあったので、ぜひその辺をきっかけにお願いしたい。



【市長】

よいご提案をいただきました。地域自由大学をご存じでしょうか。武蔵野市内、周辺を含めて5つの大学があります。その大学と提携して、大学のキャンパス講座を市民開放してい

ただいています。今、年間 1,700 名ぐらい登録していただいています、学生の隣の席で講義を受けるといふ、なかなかよいですね。そういうことも含めて利用いただいているのですが、その学んだ後の活動する場というのを、あまり市としては積極的に提供していないということもあります。

せっかく学んだことを活用いただける場面は、地域にあると思うので、そういうお力を逆にいただくということ、社会貢献を市から押しつけるわけにはいきませんが、そういう機会をぜひ工夫していきたいと思います。確かにいろんな施設で多くの方のお力をいただくというのは、これからの協働のまちづくりという観点からも必要ですので、ぜひ参考にしたいと思います。

16. 吉祥寺のまちづくりについて

【ご意見】

吉祥寺南町に住んでいる。この間、吉祥寺のまちをテレビでやったが、なかなかテレビで見るとすばらしい。外から見ると、まだ吉祥寺はすごく人気のあるところだなというのがわかった。私は市長の選挙の公約の中で、高齢者、待機児童ゼロ、それから放置自転車ゼロというのにすごく期待はしているが、財源がなければやっていけない部分があると思う。

その中で、この吉祥寺というまちの税収は、とても大きな比重を占めているかと思うが、これから J R や京王が大規模な改修をしていくが、市も一緒になって南町の南口とかヨドバシとか、そういう範囲を広げたまちづくりというのをしっかり考えていただいているのかということと、またそれが考えているだけではなくて、本当に形になるようなことをお考えかということをお伺いしたい。

【市長】



多くの方に来ていただけるということは、確かに市の発展につながっていきます。ただ具体的に、どういう税の流れがあるかというとなかなか難しいところです。例えば、武蔵野市の一般会計の予算規模は 570 億円ぐらいですが、その中で、企業の収益からお払いいただいている法人市民税は 20~30 億円です。しかし、そこでご商売されて収入を得ている方も、多く武蔵野市民としてお住まいです。そういう方々から個人の市民税をいただ

いることもありますので、間接的になるかもしれませんが、そういう地域が活性化すること、武蔵野市にとっては大きなプラスになってくると思います。

吉祥寺は、おかげさまで大変注目を受けていまして、マスコミにいろんな取材に来ていただいています。先々週の土曜日に「出沒！アド街ック天国」で、ベスト 30 ということで、多くの店を紹介されましたが、それがあるとまた翌日大変なお客さんが来る。大変ありがたいことですが、やっぱりそれを待ち受けるだけじゃだめで、まちづくりを積極的に展開しない

といけません。

南口の問題も、これはもっと市が力を上げていかないと、あのままではいけないと思っています。せっかく井の頭公園があっても、吉祥寺駅を降りても、井の頭公園の雰囲気はわかりません。南口をもう少し整備して、井の頭公園との連続をもっと強めていくとか、積極的な回遊性のあるまちづくりをこの吉祥寺で展開していきたいと思います。

それから同時に、マスコミが報道していただくのを待つだけではなく、武蔵野市も地域の商工会議所だとか商店会連合会と一緒に、この地域をもっと観光PRしていくという取り組みもぜひ必要であり、例えば商工会館1階の空間をもっと活性化して、何か観光的な拠点にできないかなと思っていまして、その観光を推進する組織を検討しているところです。武蔵野市も地方の観光とは違って、まちを見ていただく、まちを利用していただく、そんな都市観光の取り組みをこれから展開していきたいと思います。

いずれにしましても、積極的な取り組みを地域の皆様とやらなければ、他の都市に負けてしまうという課題を認識しながら、ぜひ皆様方からも厳しい意見をいただいて、もっと吉祥寺頑張れ、武蔵野市も頑張れという形で、お力をいただいて、ともにいいまちをつくっていききたいと思います。

(3) 閉会のあいさつ

【市長】



本日は、青空のもと天候には恵まれましたが、やっぱり寒い
ですね。ちょっと冷え込んでまいりましたが、多くのご
意見をいただきましてありがとうございました。冒頭ちょっと
紹介するのを忘れましたが、タウンミーティングを開催した際
には、必ず報告書をつくっております。これは、前回4月19
日に「青空」タウンミーティングを行いましたときの報告書で
ございます。皆様方からいただいた意見を整理しておりますの
で、ぜひ確認をいただけたらと思っております。

そして、今日お返事、ご回答を申し上げましたけれども、そ
のようなことが本当に、今日言っただけじゃないかと言われな
いように、ぜひ私も言ったことは有言実行していくつもりでござい
ますので、報告書で後日確認
いただいて、進んでいるか、進んでいないか、皆様方ももう一度
チェックをしていただきたいと思います
と思っております。

タウンミーティングはこれからも、原則、議会がない月には、ど
こかで毎月開催する予定で
ございます。地域に限らずどこに行っても結構ですので、そこで
またご発言をいただき
たいと思っております。

あわせて、ご意見だけをいただくのではなくて、皆様方のお力
をいただいてまちづくりをした
いと先ほども申し上げましたので、これから参加型のいろん
な会議も委員会も設けて
まいりますので、ぜひそこにも参加
いただきたいと思っております。ぜひ
これからもお願いいたします。

本日はご参加いただきましてありがとうございました。

当日いただいたご意見と市の回答・対応方針 (※アンケートでいただいたご意見も含みます)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1	子育て支援	<p>コミセンに関しては、中高年の団体の方にご利用いただいている。しかし、子育て世代とか中高生、小学生の居場所が、市内は児童館が1館しかない。泉幼稚園跡地を子育ての施設として市で買っていただいて、今もう活動しているが、なかなか実現しないということと、東西南北ぐらいいせて児童館がほしい。児童館とはゼロ歳から18歳まで使えるので、そういう意味では、ぜひ泉幼稚園跡地に児童館的なものをつくっていただきたい。</p>	<p>泉幼稚園跡地については、現在、樹木や果樹を活かした公園内に、泉文庫の図書を活用した子育て支援施設のあり方を検討しています。西部地域における子育て支援施設の再編の方向性を見据え、それに関連して全市的な視点から必要な施設が何かを検討していく必要があります。それまでの間は暫定的な利用を継続する予定です。</p>
2	食育	<p>武蔵野市は、例えば栄養士が中心になって、いろんな栄養講座を開催して、カロリー計算やバランスのよい栄養の摂取しかたなどの講座がなされている。一方、テンミリオンハウスがあって、そこで料理が作られて出されているが、そこには栄養士はおられない。</p> <p>また、農園があって、野菜や花を栽培するなどの活動がされているが、例えば農園において無農薬野菜をつくって、栄養士がその無農薬野菜をもとにしてテンミリオンハウスで食事を出すとか、そういう横のつながりが全然ないように思う。その辺を疑問に思う。</p>	<p>農園は、農家が直接経営しているものと市が市民農園として貸し出しているものがあります。それぞれの農家の方は低農薬、減農薬、有機肥料栽培など工夫しながら、過密した都市の中で農業経営を続けており、地域の方へ新鮮な農作物を提供する地産地消を推進しています。</p> <p>現在高齢者向けのテンミリオンハウスは市内に7ヶ所ありますが、3ヶ所に栄養士の資格を持つスタッフが、2ヶ所に調理師の資格を持つスタッフがいます。利用者からは、テンミリオンハウスの昼食は栄養のバランスがとれていて大変美味しいとの評判をいただいています。</p> <p>また、庭先が広いテンミリオンハウスでは、家庭菜園をつくり、収穫した野菜を昼食の食材としたり、近所の農家の農作物を利用しているところもあります。今後も地元産の農産物をなるべく使用するなど、地域とのつながりができるような取り組みを推進します。</p> <p>食について全市的につながりを持たせて食育を推進していくために、食育計画策定を進めていく予定です。22年度には、その準備として、アンケートや食事業についての課題の整理等を食育担当課で連携して行います。</p>
3	生涯学習	<p>自由大学などで随分お世話になって、生涯学習はさすが武蔵野市と仲間からも褒められているが、他のところはその社会教育の後、地域に貢献しようということで、ガイドボランティアや、郷土資料館で郷土史の勉強をしながら、市民にそのよさを伝えている。そういう関係で、社会貢献に戻ってくる仕組みを考えていただきたい。</p> <p>また、そういう拠点、郷土資料館をもっと早くつくって、ソフト資産が武蔵野市に残るように、箱物だけではなく、前からあるソフト資産を何とか活用してほしい。</p>	<p>生涯学習は、個人の自発的な意志に基くものであり、社会貢献を行うかどうかについては個々の意志によるものと思われまます。</p> <p>社会貢献を市から押し付けるわけにはいきませんが、いろいろな場面でせっかく学んだことを活用いただける場面は地域にあると思いますので、市として機会を工夫していきます。</p> <p>また、市に残された文化財や古文書、公文書、中島飛行機武蔵製作所に代表される戦争の記録などを収集・整理・保存・公開する場については、その規模や機能について検討を進めています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
4	ごみ	<p>① 使用済み割り箸の分別回収と再資源化に取り組んでほしい。吉祥寺の飲食店街からは大量の割り箸が焼却ゴミとして出ている。箸は皆が日常的に使うものだ。ゴミゼロミッションを来訪の方にも意識していただけるような武蔵野市のムーブメントとしてほしい。</p> <p>② チップ化や建材化など、市内の木材店と連携した、リサイクルモデルが工夫できないか。</p> <p>③ アド・バシ 箸袋を使った武蔵野市の情報やメッセージ発信など、面白いと思う。</p>	<p>イベント等における割り箸は、市民団体の「クリーンむさしのを推進する会」で使用した割り箸を集めて製紙会社へ送って紙にリサイクルしています。</p> <p>現在のところ、製紙会社は、市民団体等ボランティア活動のみ社会奉仕活動の一環として使用済みの割り箸を受け入れており、事業者や行政回収の割り箸の受け入れをしておらず、リサイクルができない状況です。また、従来から事業者のごみは排出者責任で処理することが原則となっており、市が使用済み割り箸の分別回収と再資源化を実施することは困難です。</p> <p>今後、飲食店等の割り箸から、塗り箸等洗って何度も使用できる箸の利用を促進していく方策を研究し、商店会連合会に要請してまいりたいと思います。</p> <p>箸袋を使用した広告については、ご意見として承ります。</p>
5	緑化・公園	<p>犬が遊べる公園を吉祥寺本町4丁目につくってほしい。安全で、いろんな犬がはいて楽しくあそべるところ。駅の近くは、人が多くて犬が楽しくなさそう。</p>	<p>ドッグランは境二丁目の「武蔵川公園」に設置しています。</p> <p>ドッグランの設置については、飼い主の方のマナーや動物が苦手な方への配慮等の難しい問題があります。また、近隣の住宅等におよぼす影響についても慎重に検討する必要があります。</p>
6	緑化・公園	<p>現在、境南町に、武蔵野市でも一、二の広さと言われている公園が計画されている。ところが住宅地の真ん中で、周囲は住宅で囲まれている。その中につくる公園ということで、どういうお考えでここを公園にしようとしているのかお伺いしたい。</p>	<p>平成21年9月から「境南中央公園」の計画づくりのためのワークショップを開催しています。基本的にはこのワークショップでまとめられた提案をもとに公園をつくる予定です。</p> <p>周囲の住宅に配慮するのはもちろんのこと、オープンスペースも確保し、地域の防災面の強化につなげたいと考えています。</p> <p>開園は平成23年4月を予定しています。</p>
7	緑化・公園	<p>ケヤキ並木が大変木が伸びて夜は暗い。前市長のときはいつもきれいに春切っていた。並木の通りに沿道の住人が勝手に植えた木が大きくなったので、元の並木道にしてほしい。市役所に相談したが、聞いてもらえなかった。</p> <p>土地は成蹊大学のものだが、木は多分武蔵野市が管理しているかと思う。最近、並木道の沿道にお住まいの人が木を植えて、その木が大きくなって、並木道の景観がすっかり変わった。夜遅くなると、成蹊大学からずっと街灯がついていますが、それが暗くて、夜は、非常に怖い。</p> <p>あの並木道は市がきちんと保存してほしい</p>	<p>成蹊学園のケヤキ並木等の樹木は、基本的には学園が管理しています。枝が大きくなり、周囲の住宅等から剪定の依頼が市へ寄せられることもあります。そのご意見を学園側へ伝え、対応いただいているところです。</p> <p>市としましては、緑の保全の協力を学園側へお願いするとともに、周辺の住宅に配慮しながら、必要な照度を確保していただきたいと思います。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
8	生活環境	<p>武蔵境駅の南口にマナーポイントがあり、ここで若い人がたばこを吸っている。この喫煙の害については、もうよく知られているところだが、また税金が上がるということも言われている。杉並区では、この喫煙対策が進んでいるように聞いている。武蔵野市では、そういうことは計画されているか。</p>	<p>武蔵境駅、三鷹駅、吉祥寺駅の3駅周辺に、禁煙地域を設定しています。喫煙はマナーポイントで行なってもらうようにして、マナーポイント以外では喫煙を遠慮していただいております。また、路上での喫煙やポイ捨て禁止を呼びかけるなど、喫煙マナーの向上を訴えています。この施策は、駅周辺の商業関係者や市民団体などの方々で構成する「ようこそ美しいまち委員会」で協議した結果、喫煙は大人としてのマナーを守りつつ楽しむべきものという考えから、喫煙者にマナーポイントでの喫煙をお願いする分煙の方法を取り入れています。駅周辺においては、路上禁煙地区指定後5年目を過ぎ、市民や来街者にも着実に浸透し、路上での喫煙者が7割以上減少するなど、喫煙者のマナーが大きく向上しています。マナーポイント以外での喫煙者が減少したことにより、地域全体における煙の不快感や思わぬ事故の可能性、吸い殻のポイ捨ても減少し、駅前周辺的美観も向上したものと確信しています。現在、ベテラン男性と若い女性がペアになりやわらかに指導する指導員が巡回して注意を促しており、この取り組みは定着し効果がみられます。杉並区では過料徴収とされましたが、当面武蔵野市では、そこまで厳しくせず現在のやり方で喫煙者をお願いして、協力いただければよいかと考えています。</p>
9	生活環境	<p>吉祥寺図書館の裏側、消防団の東側に空き家がある。市の看板がかかっているが、夜間、危ないので何とかしてもらいたい。市の所有地ではないが、古い家なので、一度見てほしい。</p>	<p>個人財産なので市としては難しい部分がありますが、防犯・防災上の面から関係者と連絡をとりながら対応していきます。なお、壁面の落書きについては、12月8日に落書き消しちやい隊による消去活動を実施しました。</p>
10	コミュニティセンター	<p>コミュニティセンターは、ボランティアで全部運営しているが、ボランティアだけだと限界がある。確かに市民、ボランティアが運営することは、市民の地域の仲間づくりにもよいが、今後すべてボランティアでやっていくと、市からもコミュニティをこういうふうを活用してほしいとか、仲間づくりをしてほしい、地域の拠点となってほしいと言われていた。ただ仲間だけで運営していくことに関しては、なかなか市や市民の要望を実現するのは難しい。窓口に関しては、有償ボランティアでやっているが、運営に関しても少し有償化してほしい。この半年で修繕依頼を17箇所出した。コミセンの利用は無料で、よいことだと思う反面、維持費、運営費、活動費はかなり厳しい。場所も無料でお貸しているが、うちの中央コミセンはすごく古くて、年中修繕依頼を出している状況だ。利用者に一人50円又は一部屋(4時間)200円位有料にして、その分を運営委員への通信費・修繕費へまわしてはいかかか。</p>	<p>コミュニティセンターは、地域におけるコミュニティづくりの拠点であることから、無料で利用いただきました。また、コミュニティセンターを、ボランティア市民の手で30年以上管理・運営してきたということは、武蔵野市民の誇りであり財産であります。これら、武蔵野市のコミュニティ施策の根幹は今後も維持していきたいと考えています。一方、地域の課題も多方面に及び、コミュニティセンターへの期待は今まで以上に大きくなってきています。新たな期待に応えるコミュニティのあり方については、第6期コミュニティ市民委員会で検討を行い、最終報告も取りまとめています。さらに、新たなコミュニティ構想について、第五期基本構想・長期計画策定の中で議論していきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
11	コミュニティセンター	コミュニティセンターを利用させていただいているが、場所がよいところはいつも予約がいっぱいで使えない。自分の近くのところをお願いしているが、月2回しか使えない。空いていても、みんなが使う会場だからということで、申し込みは2回しか受けていただけないが、月によっては空いている日もある。コミュニティ祭りなどがあるときなど、どうしても月3回稽古したい場合がある。会場が2回と決まっているからと断られると、よその会場を探さねばならない。	ほとんどのコミュニティセンターでは、予約利用を月2回までとしています。少しでも多くの方に使っていただくためには、回数制限はやむをえないものと考えています。コミュニティセンターによっては当日に空きがあれば3回以上利用できる場所も多いので、お問い合わせください。
12	都市計画	国土交通省で新しい予算をつくるときに、建設関係の予算が大幅に削られた。本線の着工もままならないような予算の状況になったことに対応して、6区市の首長たちが、国に要望書を出した。この要望書は、幾つかの問題があるが、今年度に必要な予算をつけること、22年度以降も事業費の安定確保に取り組み、早期完成に向けて着実に事業を進めることなどを要望としてお出しになった。 これについて、地上部の外環の2もまだいろいろ話し合いの緒についたところで、急にそういうことをおっしゃられても、市民もどうなっているんだろうと大変気にしている。	外環道路(本線)については、平成21年度の国の補正予算の成立を受けて事業化されました。市としては「対応の方針」を誠実に履行すること、そのための調査費も含めた予算確保及び情報提供を行うことを第一義の要望として、沿線6区市と共同し、国及び東京都に要望書を提出しました。 また、外環の2について、市では、その必要性の有無から議論できる住民参加の場の設定と、議論のためのデータを早急に公表することを東京都に求め、現在、その話し合いの場がスタートしたところです。 市といたしましては、話し合いの場や市議会での議論を踏まえるとともに、外環の2が周辺のまちづくりへ果たす役割、影響等を十分に加味し、総合的な見地から判断していきます。
13	都市計画	交通バリアフリーに予算を増額してほしい。老人が増える対策として。	市では、平成15年に策定された「武蔵野市交通バリアフリー基本構想」に基づき、公共交通機関を利用した移動の利便性や安全性の向上に取り組んできましたが、平成18年にバリアフリー新法が制定されたことを踏まえ、今後は、ハード・ソフト両面の施策を充実させ、総合的な移動空間の形成はもとより、高齢者や障害者なども含めた、すべての人が暮らしやすいユニバーサル社会の実現を目指します。
14	都市計画	外環の問題について、環八の渋滞の状況が、この外環の貫通によって緩和され、空気もよくなるだろうと伺っている。そういう意味では早くしてあげたらよいかと思う。	都市機能の向上、都市環境の改善及び首都圏の広域的な連携強化を図るには、都心へ集中する放射道路を結ぶ環状道路の整備が喫緊の課題であると考えています。事業の実施に際しては、環境や安全面等に対しての慎重な対応を国に求めています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
15	都市計画	<p>外環に関しては、10月23日に沿線6区市長が出した要望書については、住民としてびっくりした。これまで、都市計画の変更意見書については「外環のこの方向性が明確になるまでは、事業の着手は容認しない」という言葉が、住民の思いについて理解を得られていると思っていました。しかしながら、この要望書の内容とは矛盾する。市長の要望書を出すならば住民あるいは市議の意見を聞いてからにしてほしい。外環の2については、都は決まる時期は未定と言っています。ならば、市は外環の2が決まるまで、着手容認はしてほしくない。</p>	<p>外環道路(本線)は都市高速道路として、外環の2は、東京都の都市ネットワークの一部を構成する幹線道路として、昭和41年に、それぞれが別の機能を要する道路として都市計画決定されました。 また、平成19年4月の都市計画変更により、外環道路(本線)は地下化されたことから、外環道路(本線)と外環の2とは、計画としても実態としても、別の都市施設の位置づけになりました。 外環道路(本線)については、平成21年度の国の補正予算の成立を受けて事業化されました。市としては「対応の方針」を誠実に履行すること、そのための調査費も含めた予算確保及び情報提供を行うことを第一義の要望として、沿線6区市と共同し国及び都に要望書を提出しました。 また、外環の2について、市では、その必要性の有無から議論できる住民参加の場の設定と、議論のためのデータを早急に公表することを東京都に求め、現在、その話し合いの場がスタートしたところです。 市としましては、話し合いの場や市議会での議論を踏まえるとともに、外環の2が周辺のまちづくりへ果たす役割、影響等を十分に加味し、総合的な見地から判断していきます。</p>
16	吉祥寺のまちづくり	<p>JR、京王と大規模な開発が進みますが、市としてこの吉祥寺の街(南口、ヨドバシ裏含)をどのようにするか、考えはあるのか。保育所・高齢者・自転車0の公約に期待しているが、税収が減るなか、吉祥寺の商業からの税収を上げるのが先ではないか。</p>	<p>吉祥寺のまちづくりについては、平成19年3月に策定した吉祥寺グランドデザイン計画の実現化を進めています。吉祥寺のまちに多くの方に来ていただくことで、地域が活性化するという事は、市にとっては大きなプラスになってくることと考えます。 今後とも吉祥寺については、回遊性があり、幅広い世代にとって魅力あるまち、さらに楽しく充実したまちを目指し、地元の商業者、企業、地域住民の皆様など地域にかかわる関係主体と一体となって、南口駅前広場、自転車駐車場の整備、観光案内所の設置などハード・ソフトの両面から様々な施策を推進し、吉祥寺全体を視野に入れた総合的なまちづくりを進めます。</p>
17	吉祥寺のまちづくり	<p>吉祥寺駅北口広場を、イルミネーションの場だけでなく、もっと有効利用できないのか。チェを出し検討すべき時だ。バスターミナル、お祭り広場、自由広場などがよい。</p>	<p>現在の北口駅前広場は昭和62年に完成しました。冬期はイルミネーション点灯の場であるとともに点灯と同時に開催されるファンタスティックナイト、春の吉祥寺ウェルカムキャンペーンでの吉祥寺音楽祭や、悪質被害防止法に基づく啓発活動、といったようなさまざまなイベントですでに活用されています。この広場は、吉祥寺グランドデザインにおいても、吉祥寺の顔としてより魅力的な整備のあり方について検討することになっています。今後、JR及び京王の駅舎改修にあわせて、北口駅前広場の再整備について検討していきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
18	吉祥寺のまちづくり	吉祥寺駅前マーケットを交通基地にして、バスターミナル・タクシープール・荷捌き・駐車駐輪場その他に利用してほしい。	吉祥寺駅前マーケット(ハモニカ横丁)は、古いマーケットの雰囲気をとどめ、最近では新たな店舗も入るなど吉祥寺を代表するスポットである反面、防災上の危険が懸念される地区であるため、今後、吉祥寺のまちづくり全体から、これらの課題解決に向け、まちづくりのあり方から検討を進めていくことが必要と考えています。吉祥寺における自転車駐輪場、荷捌き、タクシーなどの交通問題についても、その課題解決に向け、着実に推進していきます。
19	吉祥寺のまちづくり	吉祥寺南口の駅前広場について、何年前かに、計画はあっても実現が進まないという話を聞いたことがあるが、現状は吉祥寺駅南口は、恥ずかしいような危険な状況である。現状と見通しもわかれば教えてほしい。	バス停の確保、パークロードの交通状況の改善、井の頭通りの渋滞緩和などから、平成12年に南口駅前広場を都市計画決定しましたが、当該地の関係権利者の方々の生活再建等の課題から整備には時間がかかっています。今後とも、関係権利者の方々のご理解、ご協力をいただきながら、早期完成に向けた努力を続けていきます。
20	吉祥寺のまちづくり	吉祥寺地区の固定資産税が高い。地主である寺と市に地権者との話し合いの場を設定してほしい。	市では、平成20年4月より武蔵野市小規模企業者事業用建物の建築等に伴う融資に係る信用保証料補助制度を整備しています。土地の借地契約については民民の関係ですので、市として入る立場には直接的にはありません。しかし、吉祥寺地域において、商業地の大地主が宗教法人であることが、結果として土地所有があまり細分化されることがなく、安定的な土地利用が行われてきたと考えられるところもあり、今までまちづくりに大きく関連してきたという認識を持っています。今後の吉祥寺のまちづくりにとって宗教法人の皆様の理解・ご協力なくして進めにくい面もございますので、市も積極的に宗教法人の皆さんとも、まちづくりの観点からさまざまな協力を今後とも要請していきたいと考えています。
21	吉祥寺のまちづくり	この間、吉祥寺のまちをテレビでやったが、なかなかテレビで見るとすばらしい。外から見ると、まだ吉祥寺はすごく人気のあるところだとわかった。私は市長の選挙の公約の中で、高齢者、児童待機ゼロ、それから自転車ゼロというのにすごく期待はしているが、財源がなければやっていけない部分があると思う。その中で、この吉祥寺というまちの税収は、市の税収の中でも、大きな比重を占めているかと思うが、これからJRや京王が大規模な改修をしていく。市も一緒になって南町の南口とかヨドバシとか、そういう範囲を広げたまちづくりというのをしっかり考えていってほしい。またそれが考えているだけではなくて、形にしてほしい。	今後とも吉祥寺について、幅広い世代にとって魅力あるまち、さらに楽しく充実したまちを目指し、地元の商業者、企業、地域住民の皆さまなど地域にかかわる関係主体と一体となって、南口駅前広場、自転車駐車場の整備、観光案内所の設置などハード・ソフトの両面から様々な施策を推進し、吉祥寺全体を視野に入れた総合的なまちづくりを進めます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
22	吉祥寺のまちづくり	<p>このF&Fビルから伊勢丹が撤退するという話を市民は承知している。その後どうなるかということ、所管は開発公社になると思うが、開発公社としてどうとらえているのかということと、武蔵野市としてどうとらえているのかということ、2点ある。今の段階でおっしゃっていただけることがあったら教えてほしいということ、開発公社と市との間でその辺の展望について、同じ考えで進んでいると思うが、ここが今後どうなるかということについて伺いたい。</p>	<p>F&Fビルの後継テナントについては、市と開発公社が一体となって対策を協議してきました。募集には数多くの事業者から関心が寄せられ、その提案内容を総合的に判断した結果、三菱商事都市開発株式会社と基本的事項について合意に至りました。</p> <p>同社は、F&Fビルのコンセプトを「吉祥寺スタイルコミュニティ」と設定し、吉祥寺のまち全体の活気づくりに貢献する「まちの核」となる施設を目指すとしています。</p> <p>今後は、同社がコンセプトに基づいたテナント選定等を行い、世代を超えて支持され、永く商店街とともに上質な買物環境を形成するような吉祥寺にふさわしい商業ランドマークとして、平成22年10月頃を目途に営業開始の予定です。</p>
23	交通	<p>吉祥寺東町の東十一小路という市道沿いに住んでいる。東十一小路は南から北への一方通行であり、現在、練馬区との境の部分が工事中で通過車両が少ないが、その東の宮本小路は相変わらず通過車両が多い。前市長のときに、「人にやさしい道づくり」という施策がなされたが、その効果は、はかばかしくないこともあって、建設委員会にも陳情し、採択も受けている。</p> <p>この11月末に工事が終われば、また元どおりになってしまい、車両が大量に通過する状況は変わらないと思う。抜本的なことを市としてどう取り組んでいくのか検討いただいて、地元を考えを示してほしい。</p>	<p>人にやさしいみちづくり事業は、主要幹線道路の抜け道として生活道路に流入してくる通過車両を軽減し、居住者・歩行者の安全性、快適性を確保することを目的とした施策で、平成20年度の「扶桑通り」をもって事業が完了したことから、現在は施工路線の交通量調査等フォローアップ検証をしているところです。</p> <p>路線によって事業効果に差異はありますが、吉祥寺東町地区で発生している交通問題については、都市計画道路等幹線道路の未完もあって、即効性という観点からは適切な車両軽減には至っておらず、市としても重要課題として認識しているところです。市だけでは解決できないことなので、今後も周辺区、周辺地域を所轄する警察署等とも連携し、解決策を検討していきます。</p>
24	自転車対策	<p>自転車の放置が非常に増えて、以前はご年配の方が整理していたので、駅前には1台も自転車がとまっていなかった。それが今は、とめるのもきちんととめればいいけど、若い方はそのままぱっぱととめるので、吉祥寺のまちが非常に汚くなった。市役所に言ったら、だれも相手にしてくれなかった。市役所の職員の対応の悪さには驚いた。</p>	<p>平成3年度には約4,000台あった吉祥寺駅周辺の放置自転車も、駐輪場の増設や放置防止指導や撤去の強化により、20年度には約600台まで減少しました。ただ、午後になるとお買い物のために短時間路上等に駐輪する方が多く、警告指導を行っても、なかなか効果が表れていません。今後は、一時利用を2時間まで無料としたり、土日に空いている定期利用のスペースを一時利用として開放することを通じ、普段駐輪場を使っていない方を誘導できる仕組みを構築していきたいと考えています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
25	自転車対策	<p>放置自転車も必要悪だ。あれをなくすということを考えて撤去するのではなくて、今民主党が主張しているように、25%CO2を節減しようと思ったら、逆に奨励するような形にしなければいけないと思う。</p> <p>対策としては、道路上の街路樹は全部伐採し、駐輪場として使いやすくする。整理員も配置する。それでも、追いかけてこで、なくなりっこない。広大な駐輪場を駅前につくればいいが、膨大な予算がかかる。街路樹を伐採するか、移植するかして、それで全部駐輪場ができ上がったら、また街路樹を戻す。</p> <p>生活と美観とどっちが大事だという考え方をしてもらいたい。買い物に来て、少しの時間自転車をとめたら撤去されて、3,000円取られるのは、かわいそうな話だ。</p>	<p>自転車は環境にやさしい乗り物ですが、路上に放置されますと、歩道を塞いだり、緊急活動の妨げになるだけでなく、街の美観を損ねてしまいます。自転車も車の仲間であり、車と同じようにルールに従って駐輪していただきたいと考えています。</p> <p>市としては、放置自転車をなくすために、地域公共交通体系の中での自転車利用の位置づけのもと、路線バスの利用へつなげるとともに、放置されている方を駐輪場に誘導できるような仕組みの構築と、利用しやすい場所での駐輪場増設に努めていきます。</p>
26	自転車対策	<p>放置自転車は必要悪というご意見に自分も賛成する。駐輪場を作ると、そこだけ暗くなり、商店の活性化の足を引っぱっている。末広通りの活性がなくなっている大きな原因の一つが駐輪場である。路上駐輪を市はむしろ奨励し、車の市への乗り入れを規制すべきである。</p>	
27	未利用地の活用	<p>法政一中・高の跡地は、美大通りの西側は市が土地開発公社にお求めいただいて、その後跡地をどう利用していくかについては、ぜひ住民の意見、パブリックコメントを取り入れていただいて、そこで出された意見を活用してほしい。</p>	<p>これまでも新たに公園をつくる際には、住民の皆様のご意見を聴いたうえで計画を進めています。美大通りの西側についても同様に考えています。</p>
28	未利用地の活用	<p>成蹊学園の西側にある日本興業銀行の社員寮の跡地があるが、広大な空き地が何年もそのままになっている。この跡地の利用計画について、何か具体的なプランはあるのか。差し支えない範囲で教えてほしい。最近、空き地が多くなっている。有効利用をしてほしい。福祉住宅の建設、障害者向けの作業所などの建設を望む。</p>	<p>社員寮跡地等の民間所有地の跡地利用等については、所有権者の意思によることであるため、市が直接土地利用について決定できるものではありません。ただし、このような未利用地について、今後の土地利用する際には、周辺の住環境を阻害しないようにする観点等から、適宜指導等を行っていきたいと考えています。</p> <p>公営住宅の建設については、現在の戸数を維持していく考えですが、公営住宅に入居していない住宅困窮者に対しては、これから住宅施策を考える計画(住宅マスタープラン)をつくっていきますので、その際にさまざまな議論をしていきたいと思っております。</p>
29	広報	<p>自分は学園祭によく行っている、学園祭の時期について、市内の亜細亜大の他、周辺の各大学の学園祭の時期だけでも市報で知らせてほしい。</p>	<p>現在、月2回市報を発行していますが、紙面の制約もあり、市政情報・市主催のイベント等のほか、コミュニティセンター関連、他の官公署の情報など公共性の高い情報に絞って掲載することとしています。</p>

3. アンケートでいただいた感想

※アンケートの自由回答欄でいただいた感想を掲載しています。

1	参加しやすい。
2	戸外も良いが、寒かった。みなさんの持っている問題、疑問、意見を聞くことが出来て面白かった。
3	参加人数もほどほどで、ゆっくり市長さんのお話が聞けてよかった。
4	対話式での意思交換できた点については、非常によいと思う。青空タウンミーティングという発想自体は良いと思いましたが、本日はちょっと寒かったので、今後は温暖な時期に開催して頂きたい。
5	自由なふんいきでたいへんよかった。市長の誠意ある回答に好感がもてた。
6	市長さんの回答がわかりやすく、とても勉強になりました。又参加出来ますように、市長さんにしていただくのではなく、私たちに何が出来るかだと思います。
7	率直な意見交換が出来てよかった。
8	多岐にわたる要望・意見のすべてに、真摯に、丁寧回答していて、好ましかった。
9	良い企画です。
10	限られた時間、質問によっては途中で中止しては如何？多くの人の意見を聴きたい。
11	初期のころより建設的になってきたように思います。運営方法もなれてきているように思いました。最後の市の協働にもって行きたい、武蔵野からのPRにつかうようにという市長のお考えには大賛成です。市民としてますます住みよい町にしていきたいとします。
12	具体的な提案や意見が次々に出て、よかった。まちの未解決の問題が、たくさんある。それをよく知って情報をあつめ、意見をやりとりして、地域のコンセンサスをまとめる。これこそ、私達住民の宿題ではないか。（吉祥寺駅地下街の構想は如何？）
13	市民公募の委員会の1～2名の市民の声が、市民代表の声と考えないでほしい。（これで市民が主役と思われても困ります）
14	駅前の自転車で町がきたなくなった。
15	自転車置き場の件、駐輪場があってもそこまで置きに行くのがめんどろなのでは…。街路樹を切って駐輪場なんて論外です。やはり自転車を利用なさる方のマナー、良心に期待したいです。

第28回 市民と市長の

青空

タウンミーティング

<開催日時>

11 / 3 (火・祝) 13:30～15:00
※小雨決行

事前申込
不要

当日、直接会場に
お越しください。

<会場>

F&Fビル
1階ウッドデッキ
(武蔵野市吉祥寺本町1-8-16・元町通り側)

【会場案内図】



<内容>

今回のタウンミーティングは、市長が休日の街角に出て、青空のもと車座形式で、地域の課題や市政全般について、意見交換を行います。

<お願い>

当日、お車でのご来場は、ご遠慮くださいますようお願いいたします。

【主催】 武蔵野市

【協力】 むさしの-FM

—問い合わせ先—

武蔵野市役所 市民協働推進課(2階)

TEL0422-60-1829 FAX0422-51-2000

主

役

は

市

民

で
す

あなたの声をお聞かせください

第28回

市民と市長の青空タウンミーティング

報告書

発行 平成22年1月

武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)